

コースは？ ボランティアは？ 五輪マラソン、競歩

東京2020オリンピックのマラソンと競歩が札幌で行われます。2019年10月末に移転方針が伝えられ、コースの概要が決定したのが12月下旬。レース当日に向けた準備が、時間が限られている中で進められます。これに伴いボランティアの増員も予想されます。

マラソンは女子が8月8日(土)、男子がオリンピック最終日の9日(日)に行われます。スタートはともに午前7時。大通公園を出発して大通公園にゴールします。雪解け後に公式の計測が行われスタートとフィニッシュの正確な位置を確定します。

2012年のロンドン五輪では、市内を3周する周回コースが初めて採用されました。2016年のリオデジャネイロオリンピックでも周回コースでした。周回コースはコンパクトなエリアで競技を実施できて、観客が繰り返しランナーの疾走を見ることが出来るのが利点とされ、今回の札幌コースもその路線を踏襲したことになります。

北大構内に入ると中央道路に入るまでの約1kmの短い距離のなかで、ほぼ直角に曲がる7つのクランクが待ち受けますが、そこを除けばあとは極端なジグザグ路はありません。

ロンドン五輪は古くからの市街地にある観光名所を網羅するようにルートがつけられ「路地裏の鬼ごっこ」と評されました。曲がり角が約100か所あり、古い石畳や狭い小路などを通る難コース。札幌は比較すると、全般には選手の地力が試され、北大構内ではレースの駆け引きも楽しめる。そんな舞台が出来たといえそうです。

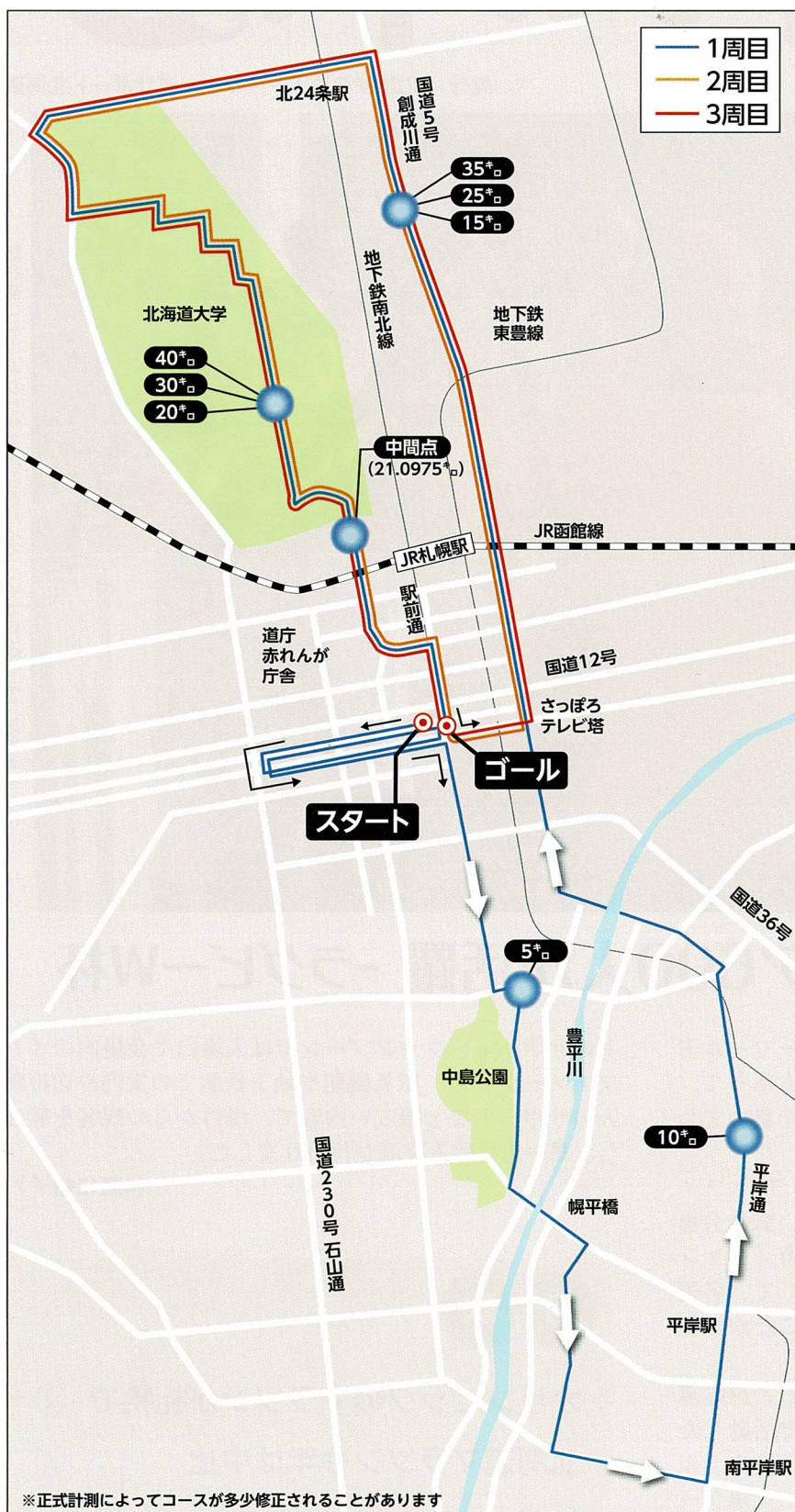
●北海道マラソンコースが基本

札幌のコースは起伏が少なく走りやすいことが特徴。北海道マラソンコースのほぼ半分が基本となっています。レース前半の白石・藻岩通を平岸通へ向かう部分が緩い上りとなっているだけで平岸通をゆるゆると下れば、あとはほぼ平坦な道が続きます。

五輪マラソンで期待がかかる前田穂南さんと鈴木亜由子さんはともに2017年と2018年の北海道マラソンで優勝。最終選考レースとなった昨年秋のMGC(マラソン・グランド・チャンピオンシップ)の出場権を得て、見事に代表の座をつかみ取りました。本番の舞台は経験のある札幌の地。その利を生かしてメダルを獲得してもらいたいですね。

競歩競技はJR札幌駅とススキノ交差点を結ぶ駅前通がコースになりました。8月6日(男子)と7日(女子)の午後4時半に20kmが、7日の午前5時半スタートの男子50kmが予定されています。

ボランティアはすでに札幌ドームを会場とするサッカー競技(7月22日から29日まで



※正式計測によってコースが多少修正されることがあります